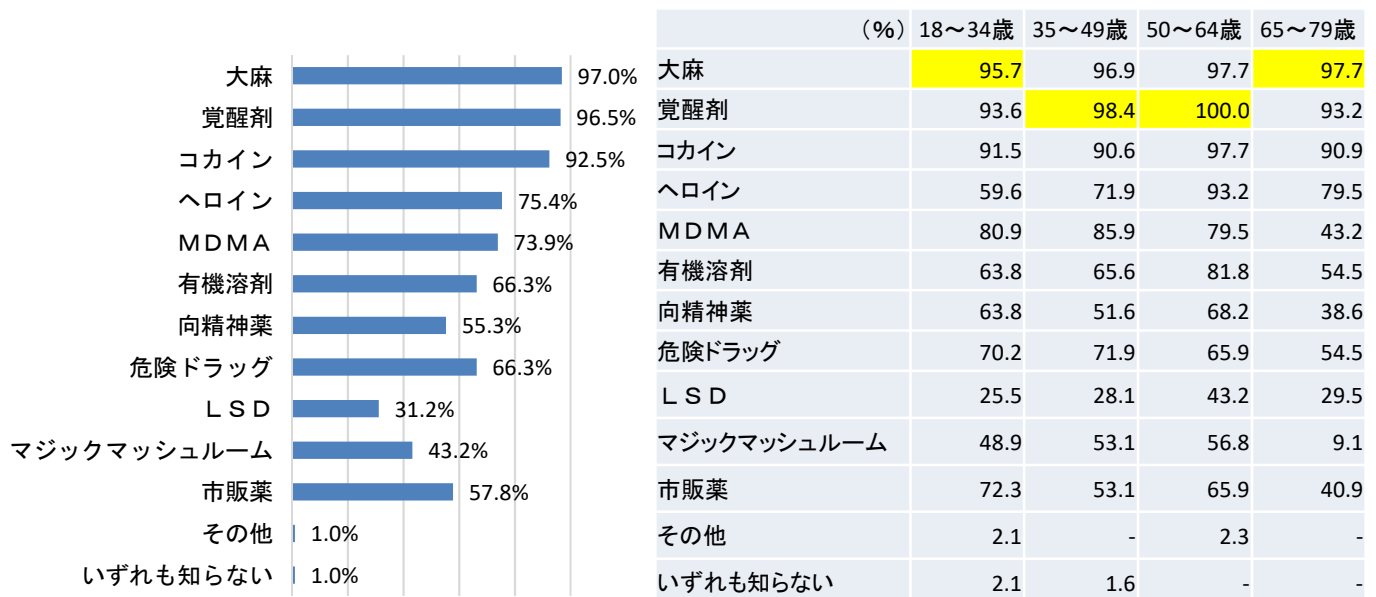


<薬物乱用防止に対する意識について>

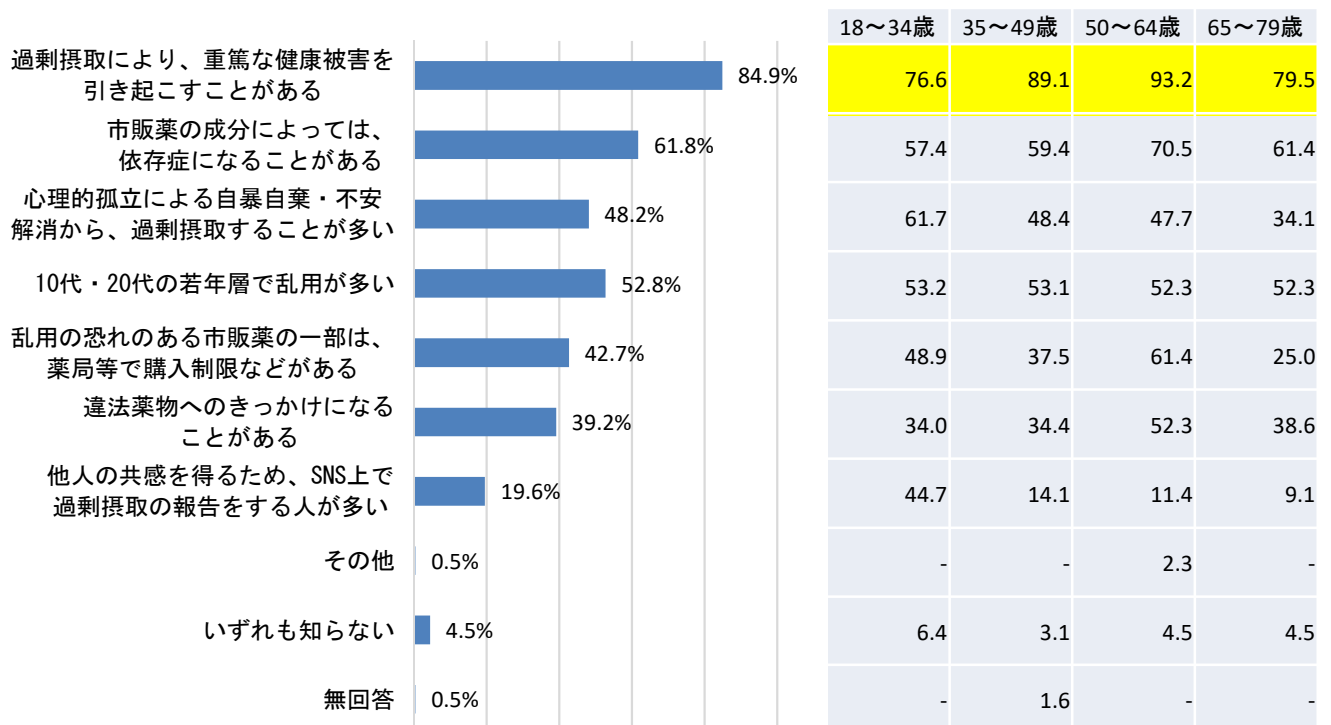
■問1 乱用されている薬物で知っているもの、聞いたことがあるもの (n=199 複数回答)



■ 乱用されている薬物で知っているもの、聞いたことがあるものについては、「大麻」、「覚醒剤」、「コカイン」が9割以上となっています。

■ 世代別にみても、全ての世代で「大麻」、「覚醒剤」、「コカイン」が9割以上となっています(50～64歳では「ヘロイン」も9割以上)。

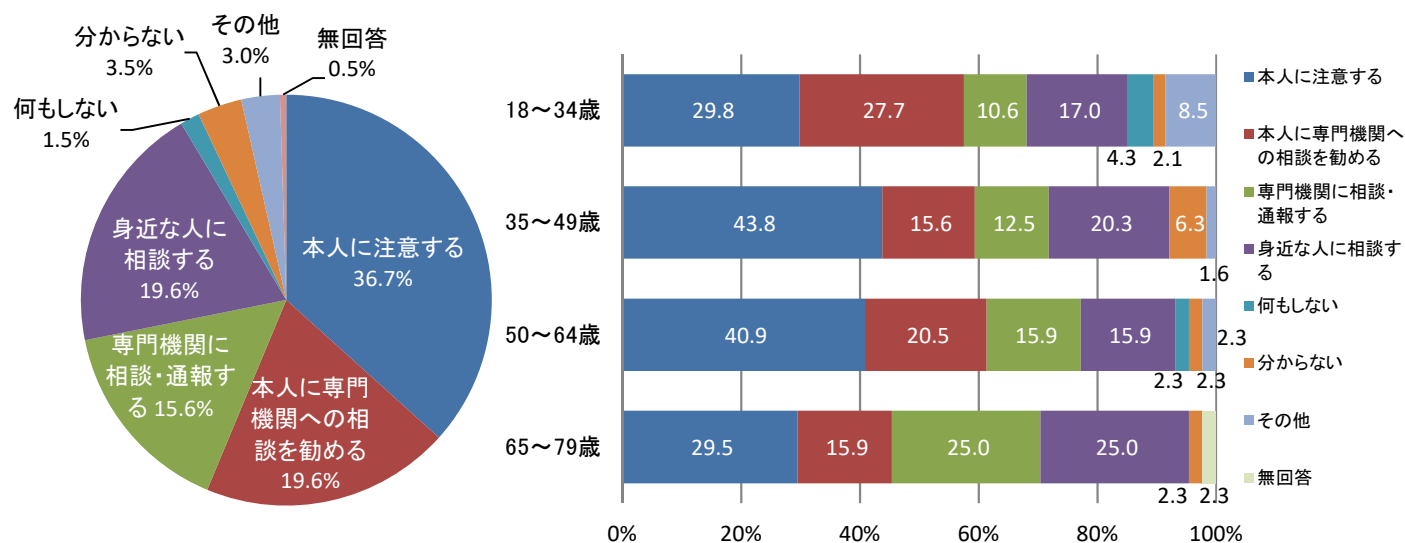
■問2 市販薬の過剰摂取(オーバードーズ)で知っていること (n=199 複数回答)



■ 市販薬の過剰摂取(オーバードーズ)で知っていることについては、「過剰摂取により、重篤な健康被害を引き起こすことがある」が約8割と最も多い回答となっています。

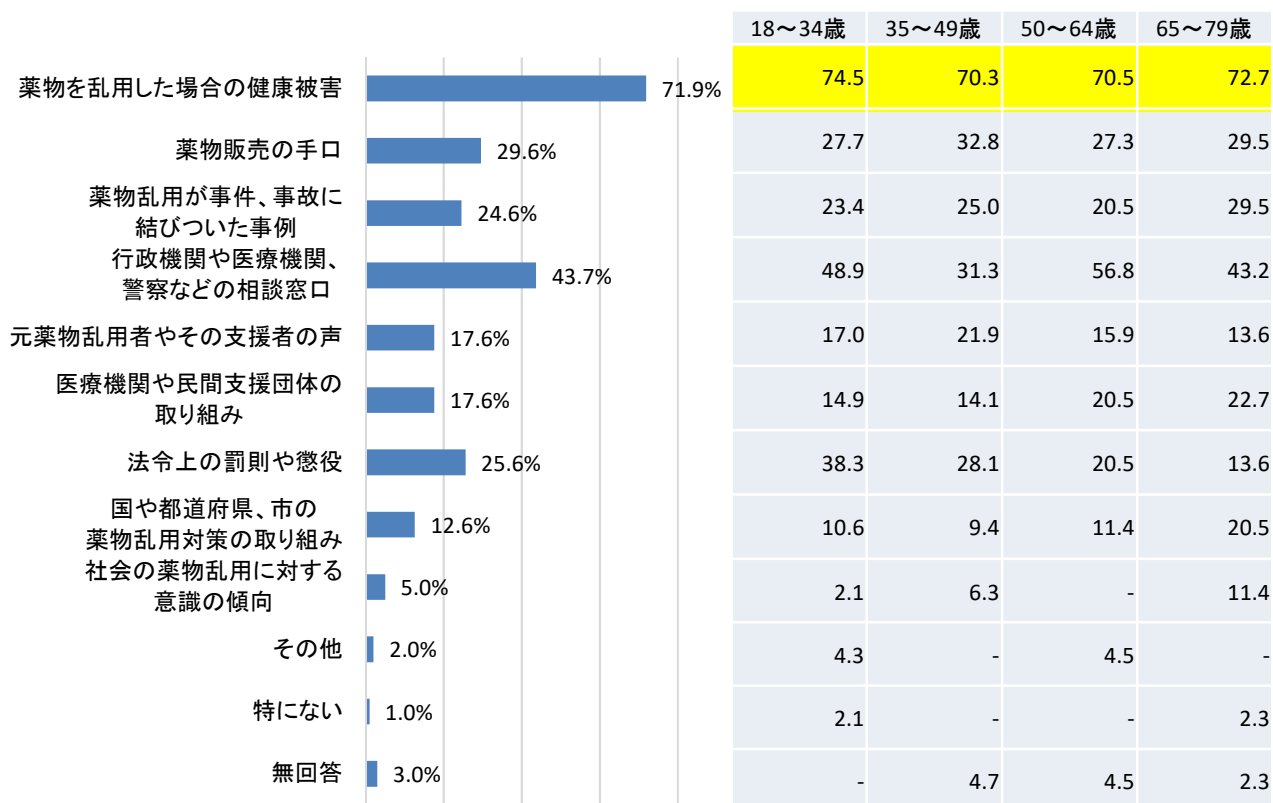
■ 世代別にみても、全ての世代で「過剰摂取により、重篤な健康被害を引き起こすことがある」が最も多い回答となっています。

問3 周りに薬物を乱用している人がいた場合、まず何をするか (n=199)



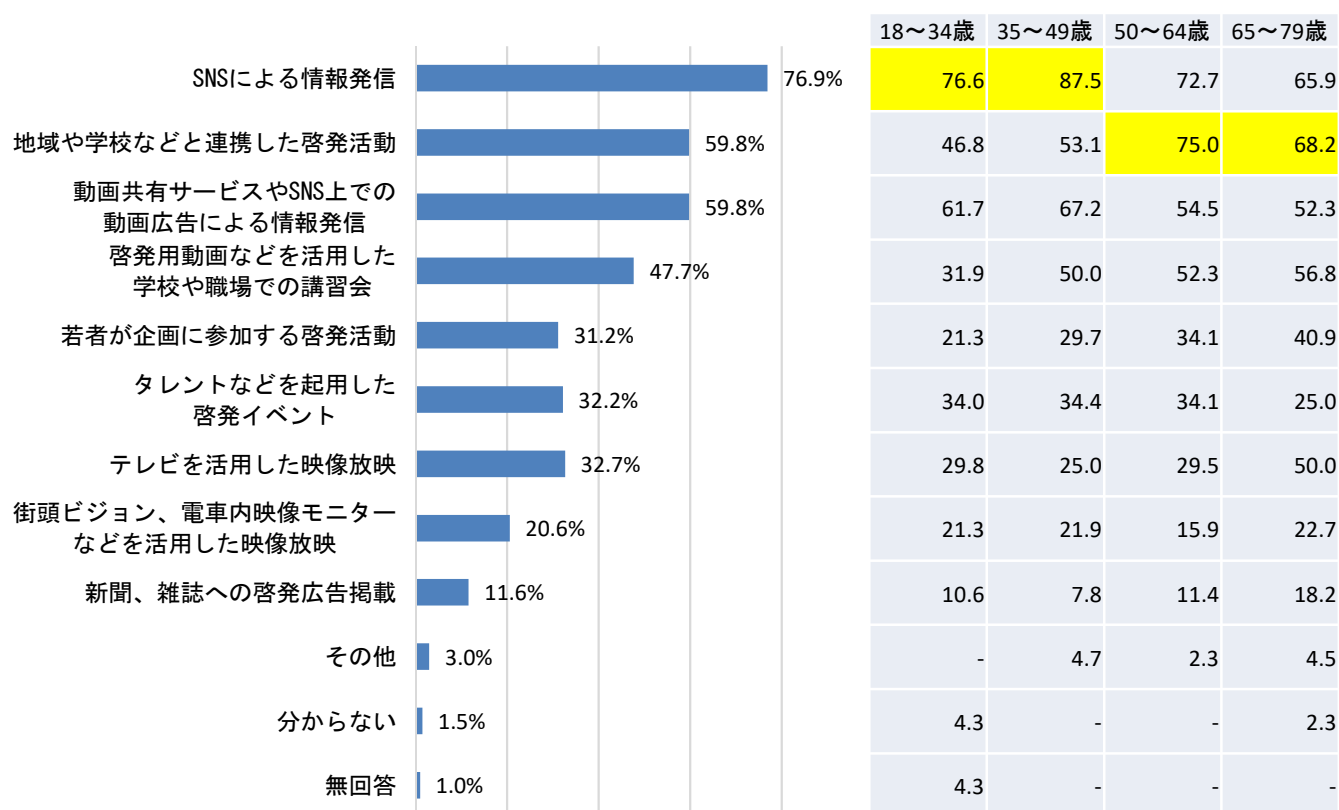
- 周りに薬物を乱用している人がいた場合、まず何をするかについては、「本人に注意する」が約4割と最も多い回答となっています。
- 世代別にみても、全ての世代で「本人に注意する」が最も多い回答となっています。

問4 薬物に手を出さないようにするために知っておきたいこと (n=199 3つまで)



- 薬物に手を出さないようにするために知っておきたいことについては、「薬物を乱用した場合の健康被害」が約7割と最も多い回答となっています。
- 世代別にみても、全ての世代で「薬物を乱用した場合の健康被害」が最も多い回答となっています。

■問5 若者への薬物乱用防止の啓発に効果的だと思う方法 (n=199 複数回答)



■ 若者への薬物乱用防止の啓発に効果的だと思う方法については、「SNSによる情報発信」が約8割と最も多い回答となっています。

■ 世代別にみると、18～34歳・35～49歳では「SNSによる情報発信」が、50～64歳・65～79歳では「地域や学校などと連携した啓発活動」が最も多い回答となっています。